

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                             |     |                |
|----------------|-----------------------------|-----|----------------|
| ○事業所名          | 宮城児童福祉サービス みんなtoさんぽ エスコート富谷 |     |                |
| ○保護者評価実施期間     | 2026年 3月 2日                 |     | ～ 2026年 3月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                      | 25名 | (回答者数) 20名     |
| ○従業員評価実施期間     | 2026年 3月 2日                 |     | ～ 2026年 3月 31日 |
| ○従業員評価有効回答数    | (対象者数)                      | 10名 | (回答者数) 10名     |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 5月 29日                |     |                |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること   | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等   |
|---|--|---|--|
| 1 | 子どもたちが安心して、楽しみに通所している。                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが安心して活動できる空間や人間関係等の環境調整。</li> <li>・子どもたちが「楽しい」と感じる集団活動や個別活動。</li> <li>・子どもたちと職員との「安心できる」信頼関係の構築。</li> <li>・安心できる「居場所」づくり。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが感じる「楽しい」は異なることを考慮し、活動や支援の工夫。</li> </ul>  |
| 2 | 一人ひとりの特性等にに応じた支援ができています。                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとり異なる「困り感」へ寄り添う支援。</li> <li>・全職員によるモニタリングで、一人ひとりの「困り感」や「他児との関わり」等についての情報共有。</li> <li>・支援の「振り返り」で、一人ひとりにとってよりよい支援の工夫。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「モニタリング力」を高め、子どもたちの表情、行動の変化や成長に気付ける支援。</li> <li>・「振り返り」を共有するシステムの構築。</li> <li>・職員のスキルアップ、外部研修、資格取得を含めた研修への積極的な参加。</li> </ul> |
| 3 | 定期的な「SNS」の発信や「おさんぽびより」を通じ、活動を楽しむ様子や状況を伝えている。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動時の笑顔や真剣な眼差し、おともだちや職員との関わりを掲載。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発信の頻度を高め、自然な笑顔や表情を見逃さないタイミングの工夫。</li> </ul>  |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|--|---|--|
| 1 | 事業所外の子どもたちとの交流機会が少ない。                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園での遊びや、公共施設での活動で、地域の子どもと接することはあるが、同じ遊具や体験等で一緒に活動することに抵抗がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や町内のイベント、行事等への参加。</li> </ul>   |
| 2 | 保護者会の開催及び保護者同士の交流機会が少ない。                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日程調整が難しく、年度末に保護者会を開催するにとどまっている。</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会開催時期の検討。</li> <li>・保護者同士の交流機会を増やす工夫。</li> <li>・保護者を交えた研修会の開催。</li> </ul> |
| 3 | 専門職（PT、OT、ST等）がない。                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の採用に至っていない。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職を講師として招き、保護者、職員の研修会の開催。</li> </ul>  |